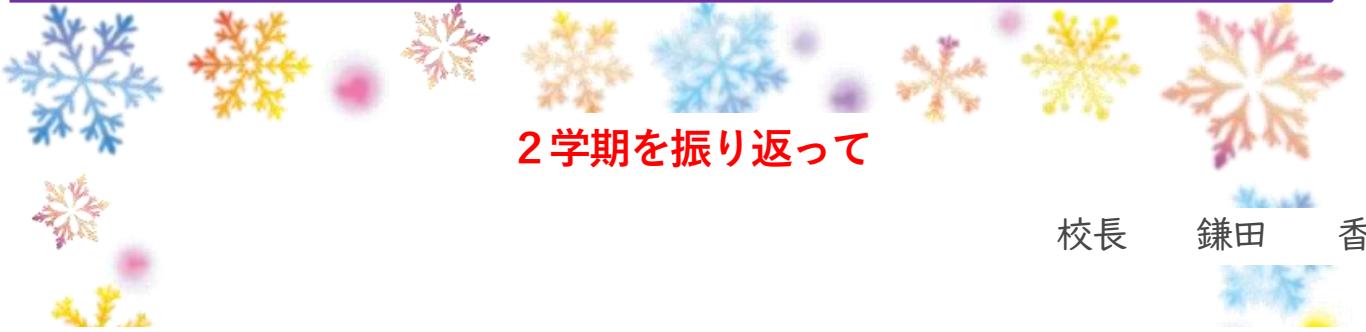


大谷小中学校だより

NO.9

令和7年12月24日
珠洲市立大谷小中学校



2学期を振り返って

校長 鎌田 香

校長室の窓からは、崩れた斜面で、日々災害からの復旧のため、尽力いただいている方々の姿が見られます。私は、自家用車の運転に自信がないので、積雪のある大谷峠の運転はとても不安です。しかし、様々な方々のご尽力により、大谷トンネルが通行できるようになり、ありがたい限りです。一方で12月8日に青森県東方沖で地震が発生し、八戸市で震度6強の揺れであったことを知ったときは、令和6年の地震を思い出し、ゾッとしました。自然の営みの前に祈ることしかできない自分のことを振り返り、改めて自然に対する畏敬の念を抱きます。

さて、私は、この2学期を大変充実した日々だったと振り返ることができます。

まず、運動会です。生徒の皆さんが考えた競技はどれも、地域の方々も一緒に楽しむことができるものばかりでした。ボランティアで来られた大学生の方々も「あったかい運動会だった」という感想を述べられたそうです。私も唯一無二の素晴らしい運動会だったと思います。何より、生徒の皆さん自身が運動会を、100点満点として、評価したとき、100点、110点、120点という点数を付けられたことがとても嬉しかったです。少数最強を証明できる、また、地域の方々との絆を強めることができる運動会であったと実感できたのだと思います。

次に文化祭です。皆さんのバンド「MASK」の演奏は圧巻でした。目標をもって努力することで、こんなにも上達するのだなど皆さんのかの大きさ、無限の可能性を感じました。能越ケーブルネットで流れる放送を見た方々からは、「すごい。良かったよ。生徒たち頑張ったね。」という感想をたくさんいただきました。

学校行事のみならず、学習面でも頑張りましたね。

授業では、他校とのオンライン授業や対面での交流授業をたくさん行いました。慣れない中での学習であったと思いますが、よく頑張りましたね。他校の生徒と協働することで、確実に力がついていると感じています。

中学生英語スピーチコンテストでは、流暢な英語で自信をもって話す皆さんの姿に感動しました。お年寄りの絵コンクールは金賞・銀賞・銅賞を独占しました。絵画や読書感想画は、市の代表として県へ出品されました。税の作文では、輪島税務連絡協議長賞銅賞を受賞するなど様々な所で力を発揮することができました。4名の生徒が、このように様々な所で活躍していることは、素晴らしいことです。

そして、なんといっても最強だったのは、美冬さんの円盤投げです。県の大会で優勝し、全国大会へ出場しました。全国のトップ選手と競い合うということは、本当にすごいことです。

さて、25日から生徒たちは冬休みになります。アニバーサリー反応といって、もしかしたら、さまざまなことを思い出してしまうかもしれません。マイナスな気持ちになるかもしれません。しかし、生徒のみなさんは、最強です。自信を持ってください。ここまでみんなで一歩ずつ確実に前進してきたのですから、そして、ここから先もみんなで歩んでいける力をもっています。

このように充実した日々を送ることができたのは、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援があってこそと感謝いたしております。令和8年という新しい年を迎えることとなります。変わらぬご理解とご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

■ 収穫祭～黒米のおはぎ作り～ 11月19日（水）

種もみから育てた黒米。苗になるのか心配した4月。雨の中泥んこになりながら田植えをした5月。秋晴れの中、みんなで稲刈りをした9月。この日は収穫した黒米でおはぎを作り、感謝祭を行いました。みんなで作ったおはぎはとても美味しいかったです。様々な体験を行うことで、環境について、食文化について、大谷においての黒米おはぎの歴史など探究することができました。



■ 珠洲市中学生英語スピーチコンテスト 11月20日（木）

珠洲市中学生英語スピーチコンテストが宝立小中学校で行われました。7年生は2名のスキットで「砂取節」について、8年生は「揚げ浜式の塩について」、9年生は「鯉のぼりフェスティバル」を題材にスピーチをしました。大谷ならではの題材で地元愛をアピールしてきました。落ち着いて発表することができ、練習の成果が発揮されました。表情豊かな英語で自分たちの考えを十分に伝えることができたと思います。結果は、7年生と8年生が最優秀賞を獲得しました。コンテストの最後には、昨年度最優秀賞を受賞した本校卒業生が招待スピーチを行いました。久しぶりに5名がそろってうれしそうでした。

■ 珠洲市SDGs学習取組報告会 11月28日（金）

午後から珠洲市の小学校・義務教育学校前期課程5・6年生と中学生・義務教育学校後期課程の生徒がこれまで取り組んだSDGs学習の取組報告会を行いました。「ラポルトすず」という大きな会場でしたが、大谷小中学校の生徒4名は、これまで取り組んできた「大谷ガチャ」と「人の輪」について、堂々と自分たちの考えを表現することができました。とても緊張したようでしたが、達成感を持つことができたようです。

他の学校の取組も地域と協働していたり、地域の良さが生かされていたりして、とても素晴らしいです。今後の学習に取り入れたいことがたくさんありました。多くの学びがある報告会でした。



1月 行事予定

1	木		11	日		21	水	奥能登教育事務所訪問日
2	金		12	月		22	木	スキーピーク学習
3	土		13	火	第2回学力テスト（9年） ペネッセ学力テスト、キャリア講演会	23	金	スキーピーク学習 保護者と市長の語る会
4	日		14	水	第2回学力テスト（9年） ペネッセ学力テスト、職員会議	24	土	
5	月	安全点検	15	木	街頭指導 GTEC	25	日	
6	火		16	金	英語検定（1次）	26	月	
7	水	校内研修会	17	土		27	火	委員会
8	木	街頭指導 始業式 校内書初め大会	18	日	珠洲市民百人一首かるた大会 (飯田公民館)	28	水	学教研
9	金		19	月	理科重要語句コンテスト	29	木	人の輪
10	土		20	火		30	金	生徒集会
						31	土	

■ PTA スポーツイベント 12月3日(水)

PTAのスポーツイベントとして、ピックルボールを行いました。ピックルボールとは、テニス・バドミントン・卓球の要素を組み合わせたアメリカ発祥のラケット



スポーツです。初めての挑戦となるスポーツでしたが、親子ペアで対戦し、いい汗をかいできました。得点すれば喜び合い、プレーの中では「頼む」「よし」などの掛け声が飛び交いました。さわやかな笑顔のあふれる時間となりました。

■ 人権週間の取組～アニメ「めぐみ」から考える～ 12月5日(金)



12月4日(木)から12月10日(水)までの1週間は「第77回人権週間」です。今年は、全校生徒でアニメ「めぐみ」を視聴し、人権問題(拉致問題)について考えました。生徒の振り返りには「今まで拉致問題について考えたことがなかったし、このような事件が起こっていたことも知らなかったので、知ることができてよかった。」「こんなに恐ろしいことが起きているとは、知らなかった。絶対に忘れないようにしたいと思った。」「様々な人権問題について、自分に何ができるかを考えたり、調べたりして関心を持つことが大切だと思った。」というものがありました。



■ 心のサポート授業 12月10日(水)



スクールカウンセラーによる心のサポート授業を行いました。この冬休みに1月1日の地震が起きた日があること、12月8日に青森県で震度6強の地震があったことなどから、不安な気持ちになったときの対処法や不安な気持ちにならないように災害に備えておくことなどについて学び、話し合いました。

「今日は、地震や災害とどのように向き合っていけばよいのかがわかった気がした。」「自分の気持ちが落ち込んだ時にどのような言葉をかけて、どのような曲を聴くと良いか考えることができました。」「つらいときは、自分の好きな曲を聴くと良いと思った。音楽は気持ちを上げてくれるのですごいと思った。」「私は歌ったり、聴いたりするのが好きなので、その時の気持ちに合った曲を聴きたいと思った。」という感想がありました。

■ 三崎中学校にて交流学習 12月16日(火)

この日は午後から、三崎中学校に出向き交流学習を行いました。5限目の体育の授業では、ベースボール型ゲームを行いました。大谷小中学校の生徒だけではなかなかできないゲームをする中で、普段学校で行っているキヤッチボールやバッティングの練習の成果を発揮することができました。

6限目に行われた9年生の英語の授業では、先日まで学習していた単元の復習をクイズ形式で行いました。教科書を参考にしながら、簡単にできるものから、かなり考えないとできないものまで、多彩なレベルの問題に協力して取り組みました。

体育も英語もチーム対抗で行いましたが、両方とも同点で終わりました。決着をつけるために、もう一度出向きましょうということでしょうか？生徒たちは、楽しい学習の時間を過ごすことができました。



アニバーサリー反応について

大震災から2年目の節目が近づいてきました。ここ最近、悲しい気持ちや苦しい気持ちを思い出すことがよくある方も多いおられると思います。災害や事件、事故の〇年後などの節目の時期になると、いったんおさまっていたこころや体の反応が、再び現れることがあります。それを「アニバーサリー(記念日)反応」と呼びます。このような反応は、人によって程度の違いはありますが、大人も子どもも関係なく誰にでも起こりうることです。決して異常なことでも、心が弱いということでもありません。

起こりやすい反応

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 緊張する、落ち着きがない、眠れない | <input type="checkbox"/> そわそわする、いらっしゃる、勉強に集中できない |
| <input type="checkbox"/> 怒りっぽくなる | <input type="checkbox"/> 普段よりよくしゃべる |
| <input type="checkbox"/> 思い出してつらい、ドキドキする | <input type="checkbox"/> 思い出したくないのに思い出す |
| <input type="checkbox"/> 怖い夢を見る | <input type="checkbox"/> ニュースを見たくない、その話を聞きたくない |
| <input type="checkbox"/> その場所をさける | <input type="checkbox"/> ポーっとしていることが多い |
| <input type="checkbox"/> マイナスの考えや自分を責める考えが浮かぶ | |

4つの大丈夫

1. 『よくあるから大丈夫』

人によって出る反応や程度は違いますが、節目が近づくと何かしらの反応がでるのは当たり前なことです。これらの反応は誰にでも起こりうるものなので、変なことでも恥ずかしいことでもありません。自分を責める必要も全くありません。

2. 『一時的だから大丈夫』

いったんおさまっていたのに、またぶり返してしまうと「もうこのままで治らないのでは…」と不安になりますが、多くの場合、短期間で反応は収まります。もしも長く反応が続くことがあれば、周りの人や医療機関に相談しましょう。

3. 『楽しんで大丈夫』

大きな被害があったから、その日は楽しんではいけないんじゃないかな、イベントも楽しんではいけないんじゃないかな、日常すら楽しんではいけないんじゃないかな…と思う必要は全くありません。思いっきり楽しんで大丈夫です。その楽しい時間をぜひ大切にしてください。

4. 『一人で抱え込まなくて大丈夫』

不安な気持ち、怖い気持ち、悲しい気持ちを自分一人で抱え込まなくて大丈夫です。周りの人に伝えて、大丈夫です。また、報道される機会が増えるため、映像を見るのが辛ければチャンネルを変えたり、OFFにしたりするのもいいです。自分のペースで調整していきましょう。

表彰 おめでとうございます！

【読書感想画コンクール】

中学校の部
自由図書 特選 川端 美冬
入選 水上 しゅり

【子ども美術展】

川端 晃史 村上 アメティス
水上 しゅり 川端 美冬

【第66回石川県よい歯の学校運動における県審査会】

中学校小規模校の部 優良校

【子ども習字展】

川端 晃史 村上 アメティス
水上 しゅり 川端 美冬

【株洲市よい歯の少年少女】

川端 美冬

【市スペリングコンテスト 表彰】

川端 晃史 村上 アメティス
水上 しゅり 川端 美冬

【石川県PTA連合会広報誌コンクール】

中学校の部 優秀賞

【PRアワード2025】

審査委員特別賞

【石川県PTA連合会優良PTA】

優良PTA石川県教育委員会表彰

【第47回全国小中学校PTA広報誌コンクール】

中学校の部 日本教育新聞社社長賞

